



道路沿いはあえて窓を小さく、壁面のあしらいに。パティオが側面分の明るさと風を補い、部屋中に光と空気を流し込みます。



LDKのアクセントは奥様こだわりの「ランドキッチン」。お洒落な照明や七色に光るタイルなど、抜群のセンスが光ります。



空間を広々と自由設計にするため、玄関から向こうは廊下や建具をなくしたワンフロアデザイン。



1階には和室も。もちろんパーティオに面して光を取り込む設計。将来は仏間にと、ご夫婦の要望にも応えています。



A modern, two-story house with a light beige or cream-colored facade. The design is angular, with a prominent cantilevered upper level supported by a thick column. A large, dark-framed glass door is set into the side of the building. Above it, a single window is positioned above a horizontal band of glass. The house is surrounded by a paved driveway and some low-lying green plants. The sky is clear and blue.

- ▲玄関の真上にそびえるのは2階ベランダの壁。降り注ぐ陽光は受けながらも、洗濯物などのプライバシーは隠すあしらいです。
- ◆パティオの中庭からバランス良く入る光と風が、ワンフロアデザインのLDKに快適性と家族の笑顔を注ぎ込みます。

設計・監理 中道哲也  
【建築デザイン総合研究所スタジオパートナー】  
施工 株式会社トータルプランニング城山

建てようネット【和歌山】で建てた新築第35号!

新築工事スケジュール	住宅データ
〈基本設計期間〉 H22年9月～10月	家族構成／ご夫婦、子ども2人
〈実施設計期間〉 H22年10月～12月	構造／木造軸組工法
〈見積もり依頼期間〉 H22年12月～H23年1月	建築面積／ 71.62 m <sup>2</sup> (約21.6坪)
〈起工〉 H23年1月30日	延床面積／ 1F 65.27 m <sup>2</sup> (約19.7坪) 2F 59.86 m <sup>2</sup> (約18.1坪) 計 125.13 m <sup>2</sup> (約37.8坪)
〈上棟〉 H23年2月19日	敷地面積／ 132.24 m <sup>2</sup> (約40.0坪)
〈完成・引渡し〉 H23年4月25日	屋根／ ガルバリウム立ハゼ葺 外壁／ アクリル系微弾性塗料吹付カラキ オトシ、防火サイディング



Tatsuya Nakamichi

申道哲也

建築デザイン総合研究所スタジオパートナー  
1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級

モットー／  
建て主・施工者・設計者 三位一体



株式会社  
トータルプランニング城山

住まいづくりは「三位一体」。建て主さんははじめ、建築家や大工さんが一丸となって、夢の実現へと向かって満身するのです。「三者が一つにシンクロした時、何とも言えない充実感に満たされます。紹介する和歌山市内に完成した「有本の家」も、それぞれが意識を共有して造り上げた住まい。楽しすぎて、あつと言つてでした。」にこり満面の笑みで完成を喜ぶのは、自らを住まい手である建て主さんのお弁者として、あらゆる要望に全力で応える建築デザイン総合研究所「スタジオパートスリー」の中道哲也さん。建て主さんの理想通り、家族4人が楽しく暮らせる家が出来上がりました。「建てようネット」の面談で直接お会いしてから、1年ほどでお引き渡しまで。内容の濃さとは、家づくりにみんなで参加し、恵を出し合い、話し合う姿勢。「夫婦とは初めてお会いした時から、何だか不思議な親近感。お互いにそんな印象で、しかも今回施工をお願いしたトータルプランニング城山さんと建て主さんは、偶然にもお友達。それがさらに家づくりに生かされ、オリジナリティ溢れるものになりました」。

敷地は分譲地の角地。すぐ横は人や車が往来する道路といふこともあり、外部からの視線をシャットアウトするデザイン設計が盛り込まれました。風と光を応用した暮らしの快適性は、中心に配したパティオから程良く、バランス良く取り込まれるシステムになっています。パティオから入り込む光と風は、1階の家族が集うLDKをより居心地の良い空間に満ち溢れる明るさとぬくもりが家族の笑顔に変わります。和室のあしらいももちろんパティオに面して、2階にはご夫婦の寝室と、将来、間取りを仕切ることもできるロフト付きの子ども部屋。すっぽりと洗濯物を包み隠す高い壁を築いたベランダには、燐々と陽光が射し込みます。「2階の子ども部屋は道路沿いにしています。ですが、窓の位置、形を変えるだけでお洒落感もアップしさらにしつかりとアライベートを守る造りにも。ベランダも同様で、壁の高さに変化をもたらせるだけで外からの視線をカットし、外観のデザイン性も格段に上がりります」。家の表情はアーディア次第でいろいろな使い手の思いを、描き手がデザインし、造り手が形にしていきます。その時々、納得いくまで話をし、時にはアングルを変えることも大事。好みや考え方は十人十色。固定概念を取り払えば、それらはすべてオリジナル」と中道さん。それが三位一体となる住まいづくりの面白さなのだと。

個性はオリジナル  
三位一体で  
住まい手の夢を実現

和歌山市  
有本の家

Wakayamashi  
Arimatonie